

共犯と身分

A市で補助金交付業務を担当している公務員甲は、乙が、虚偽の事実を報告することによって、不正に補助金の交付を受けていたことを調査によって知った。

甲が婚約者である丙に事情を話したところ、丙は、「公表したら、交付に関わっているあなたの責任問題となるかも知れないから、公表せずに、この情報を利用して乙に口止め料をもらって、ハネムーンの費用にあてましょうよ」と提案した。

甲はこいつ賢いなと思い、乙に対し、「1000万持ってこないと警察に突き出すぞ」などと告げた。

乙はこのままでは逮捕されてしまうと考え、甲宅へ現金を渡しに行ったところ、甲は出張中であったので、甲から現金の受け取りを依頼されていた丙にその現金を渡した。

甲、乙及び丙の罪責を論じよ。